

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成 24 年度第 1 回 FD 情報技術講習会運営委員会議事録

- I. 日 時：平成 24 年 9 月 27 日(木) 午前 11 時から午後 1 時まで  
II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会、会議室  
III. 参加者：高橋担当理事、田宮委員長、竹内委員、家本委員、山本アドバイザー、  
及川委員(Skype)、渡辺アドバイザー(Skype)  
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本（記）

IV. 検討事項

1. 前年度講習会の参加者アンケート結果からの検討
- ・ アンケートの意見には、ほとんど良いことの記述であった。
  - ・ 導入部分の共通講義での授業事例の評価は良かったが、質疑応答の時間が短かったとの意見があり、時間の設定が必要。内容については、事前に打合せを実施して筋書きを決めておいて依頼したのが良かったと考える。
  - ・ 著作権についての評価が良かったので、織り込む必要がある。10月の著作権改正法では、より厳格化される。
  - ・ 共通講義では、「事前事後学修」として授業の工夫やLMSなどでの自学自習、「グループ学修」として対面から教室外ネットでの継続などを設定してはどうか。
  - ・ 知識を教えなければいけないのと、調べ・グループディスカッション・発表の2パターンあるが、知識を教えなければならないことへの対応が必要か。
  - ・ ポートフォリオの活用が必要で、教員と学生の接点が大切でヒントを話せないか。日記形式と先生チームで学年進行で積み重ねに対応した補完授業の形式が考えられる。
  - ・ ネットの情報を知恵・知識に変えることが情報教育ではないか。先生が連携して学生が学べるネットでのプラットフォームがつかれないか。科目の壁を超える教育、組織として質の保証が必要。
  - ・ 医科歯科関連はレベルが違うよう感じる。
  - ・ 基礎から応用へのステップアップの希望がある。
  - ・ アドバンスドは、技術に特化したのでそれを求めて来ていたと思われる。授業での使い方や授業設計、授業設計の中でツールの使い方などはどうか。
  - ・ 参加者がかわることを前提に、テクニカルな部分は継続して良いのではないか。
  - ・ どうやって学ぶのか、大学で教えるべきこと、どう情報を手に入れるかについて。
  - ・ 国家試験対策は知識を教える必要がある。
  - ・ 授業デザインはワークショップ形式でも良いのではないか。授業デザインの授業事例として見せられないか。
  - ・ FDを支えるための講習会としては、やり方そのものについて議論が必要。
  - ・ アドバンスドは、参加者の要求が発散していて、焦点を絞りにくいと感じている。
  - ・ 医歯薬系は、担当するステップで役割が違うため要求が分散しがちだと思われる。
2. 検討から方向性の整理
- ・ 授業デザインコースは、ワークショップ運営も検討する。
  - ・ プレゼンテーション、アドバンスドコースの2つは技術コースとして残す。
  - ・ 共通講義は、「著作権」「予習復習」「基礎基本学修（振り返り）」「グループ学修」「双方向授業」などを検討してはどうか。
  - ・ 会場は、大阪経済大学とし、後日日程確認（3/7,8,9を候補とした）
- V. 今後のスケジュール
- ・ 10月23日（火）14:00から、開催要項作成に向けてコース別の案を持ちより検討することにした。
  - ・ 講習会実施案：2月26日（火）27日（水）28日（木）大阪経済大学